

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

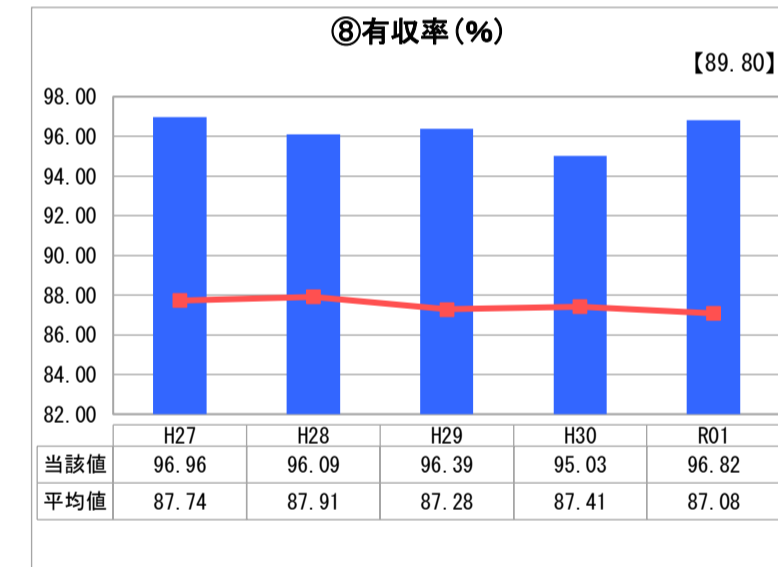
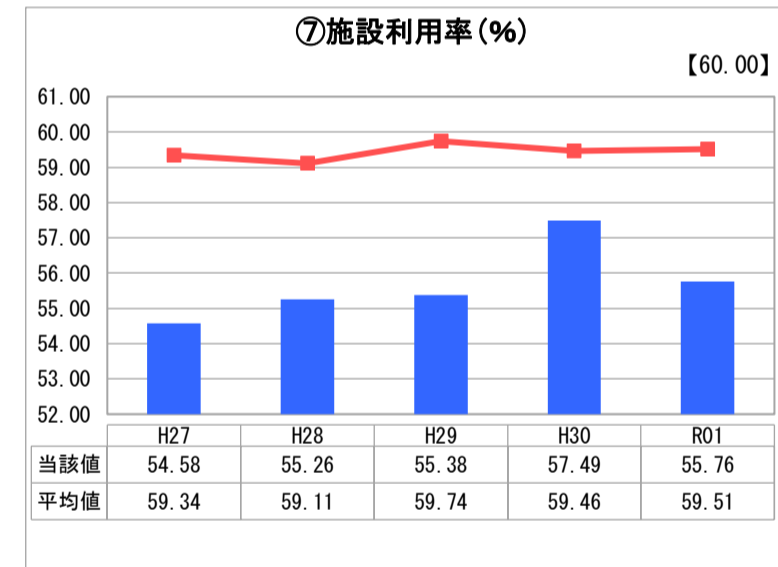
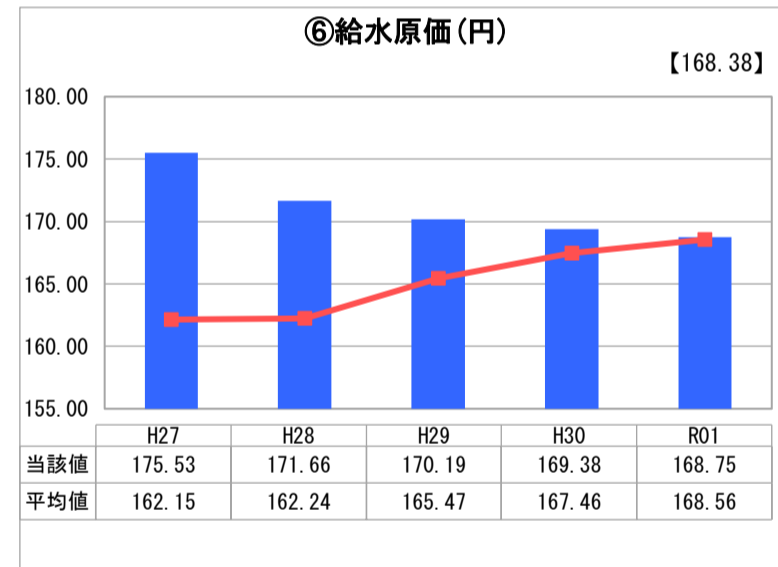
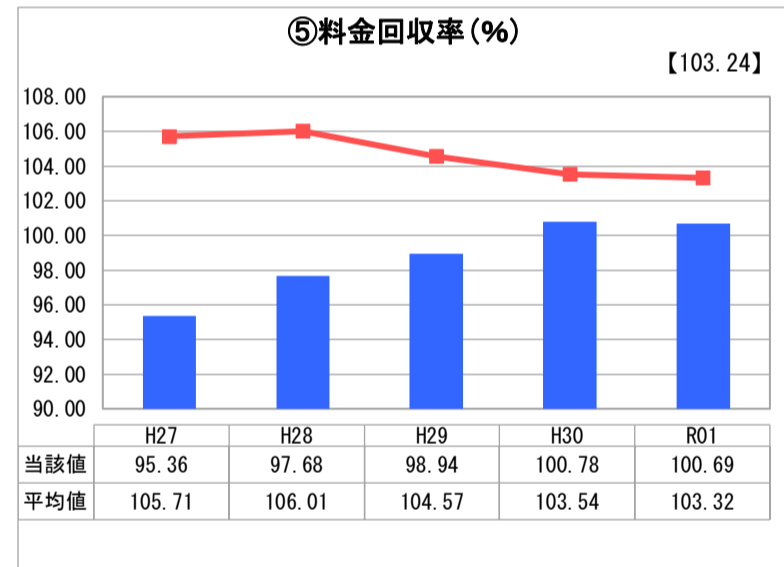
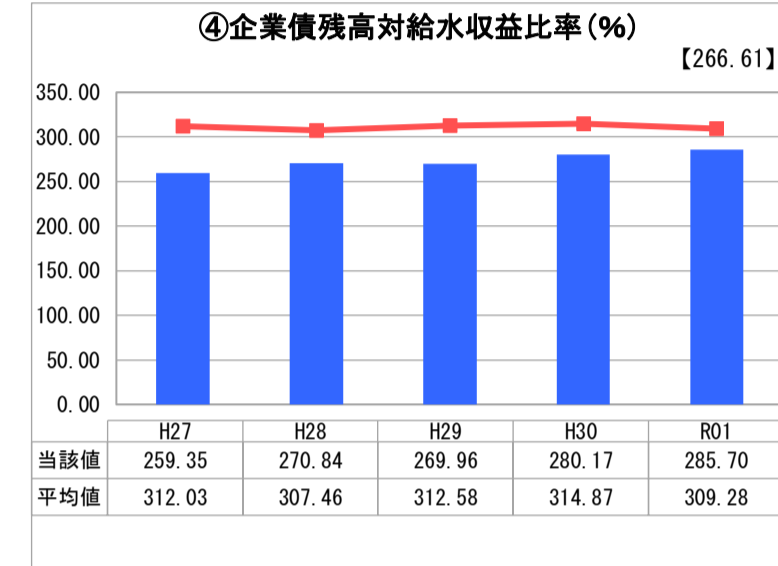
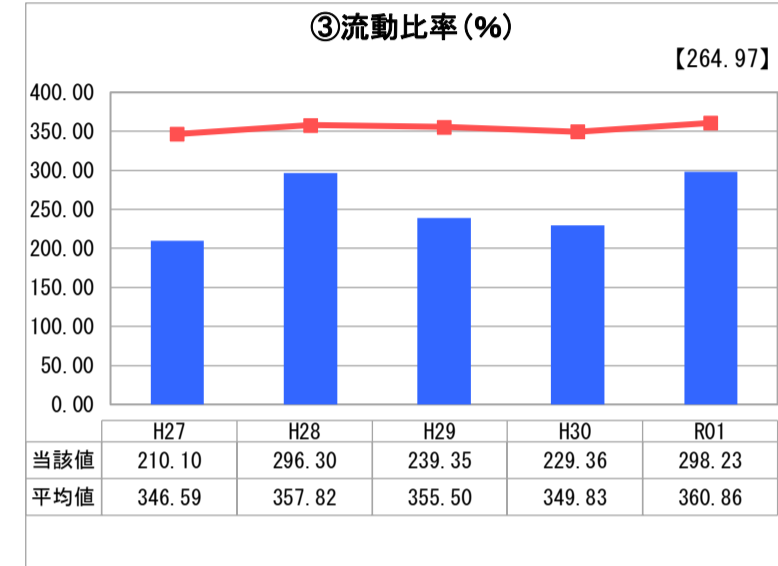
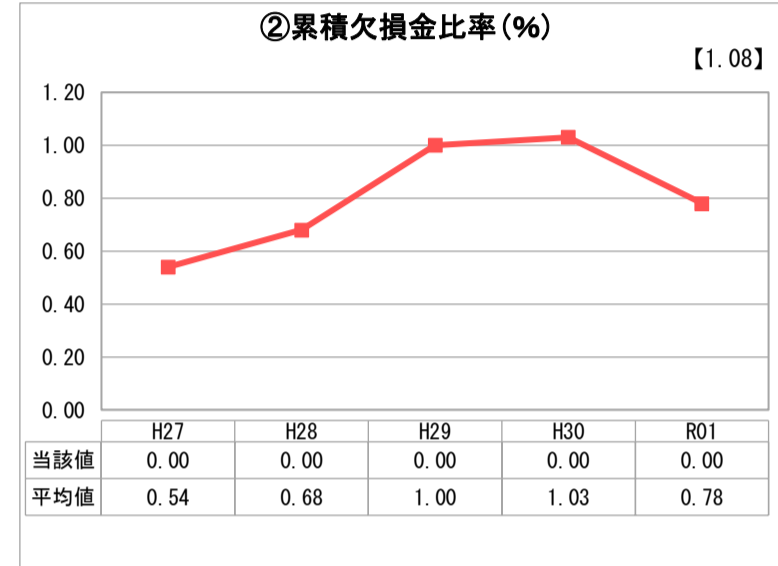
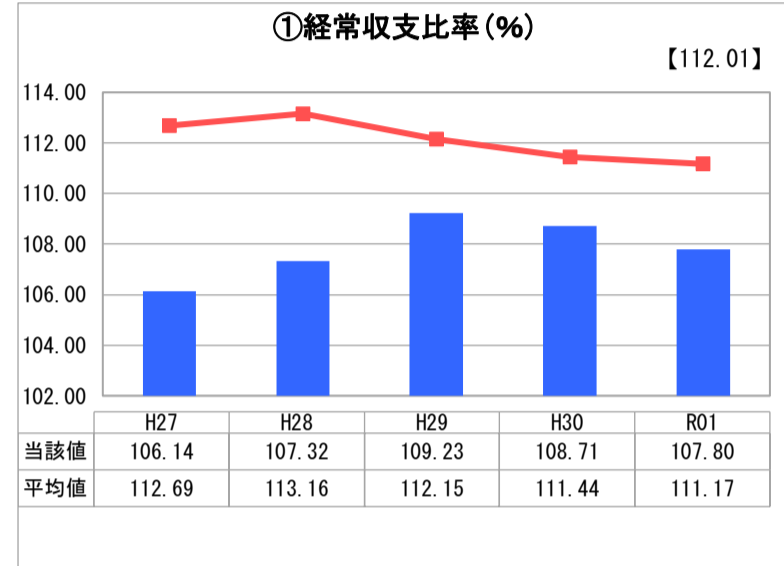
兵庫県 芦屋市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	60.01	100.00	2,530	

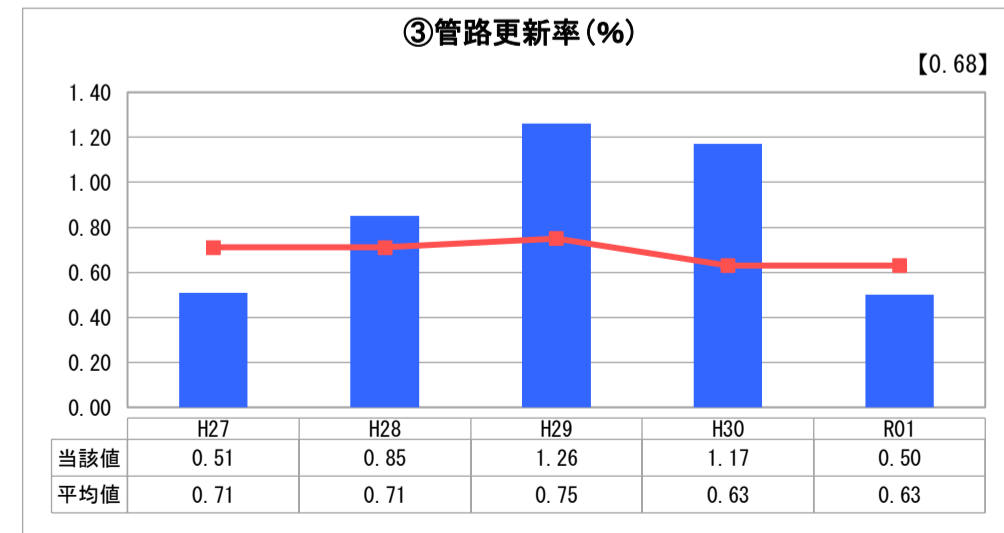
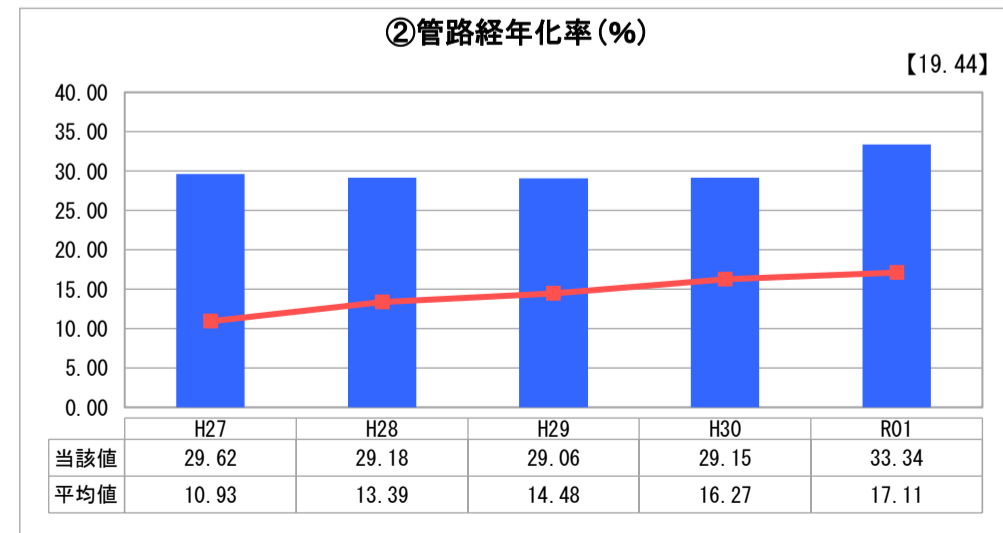
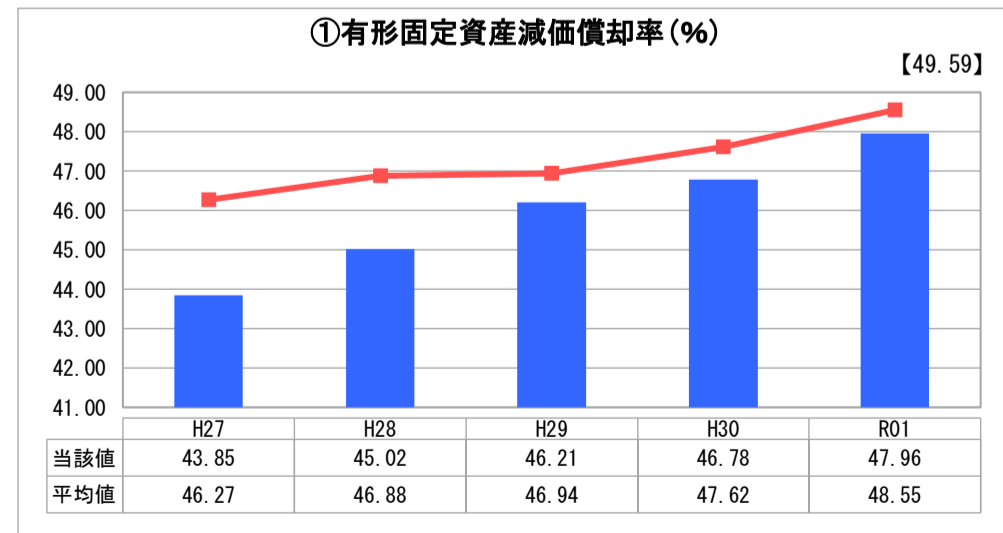
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
95,775	18.47	5,185.44
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
94,177	11.93	7,894.13

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
□	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①（経常収支比率）が安定して100%を超えていることから、老朽管の更新や業務の見直し、類似団体と同等の職員数を旨とする組織の見直し等の経費削減の効果が表れている結果となっている。併せて、⑤（料金回収率）も昨年度に引き続き100%を超えており、水道事業の独立採算制を堅持できているといえる。

一方で、④（企業債残高対給水収益比率）は、類似団体と比べてやや低く推移しているものの、増加基調にあるため、起債発行の基準等も含めて検討する必要があると考えられる。

### 2. 老朽化の状況について

①（有形固定資産減価償却率）は類似団体より若干低いものの、②（管路経年化率）は類似団体より高く、これは、高度経済成長期に集中して投資した管路・施設が更新時期を迎えていることに起因するものと考えられる。また、令和元年度は③（管路更新率）が類似団体と比べて低くなったが、今後も優先順位を決め、計画的に管路更新を行っていく。引き続き、計画的に管路更新をし、更新に際しては、耐震性・耐久性に優れた管路を使用し、管路経年化率の改善を図っていく。

## 全体総括

本市においても人口減少に伴う水需要の減少が見込まれることから、引き続き計画的かつ効率的に老朽施設等の更新を行い、経営の効率化を図りつつ健全な経営に努めていく。